

徳島市高齢者福祉計画及び 介護保険事業計画に関する提言（案）

平成30年2月

徳島市高齢者福祉計画及び徳島市介護保険事業計画策定委員会

徳島市長 遠藤 彰 良 殿

徳島市では、平成27年度から平成29年度までの3年間を計画期間とした高齢者福祉計画及び介護保険事業計画において、「ぬくもりの社会づくり」を基本理念に掲げ、高齢者が住み慣れた地域や家庭で、いきいきと自立した生活が送れるよう地域包括ケアの実現を目指し、高齢者福祉施策及び介護保険事業の充実に努めてきた。

これらの取り組みは、今後においても継続する必要があるだけでなく、日々進行する高齢化や高齢者を取り巻く社会環境の変化、高齢者自身の生活志向や意識の多様化等の様々な課題に対応するため、取り組み内容の検証等による発展的な見直しや、地域特性などを踏まえた制度の充実、深化を図る必要がある。

また、本年5月の介護保険法の改正により、制度の持続可能性を維持し保険者機能を発揮するため、新たに計画へ介護予防・重度化防止等の取組内容及び目標を記載することとされた。

こうした状況を背景として、平成30年度から平成32年度を計画期間とした新たな計画の策定にあたり、徳島市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会に対し意見を求められたところである。

このため、本策定委員会においては、「徳島市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（案）」（以下、計画案という）の策定までに3回の委員会を開催し、これまでの関連施策の取組状況やその分析による今後の課題、調査に基づく高齢者の実態や意識などを踏まえた上で、団塊の世代が75歳以上となる2025年（平成37年）を見据えた計画となるよう協議を行い、その中で委員から別紙のとおり意見が提出された。

このたび、策定された計画案には、それらの意見を十分反映いただけたものと理解している。

計画案には「高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちの実現」を基本理念

として、その実現に向けた具体的取り組みや目標数値が示されている。

このことから、高齢者福祉施策や介護保険事業の実施にあたっては、それらの取り組みや目標数値が達成できるよう各事業を積極的かつ着実に推進していくことを要望する。

また、そのために、計画の進捗や効果について分析、評価を行うとともに、結果を公表する等、適切な進行管理を行うことについても要望するものである。

平成30年2月8日

徳島市高齢者福祉計画及び
介護保険事業計画策定委員会

会 長 南 育広
副会長 富永 和弘
委 員 秋田 孝
委 員 池添 純子
委 員 鶯 春夫
委 員 大木元 繁
委 員 兼松 義典
委 員 島田 和男
委 員 白山 靖彦
委 員 管惣 美津子
委 員 田蒔 正治
委 員 津田 祐子
委 員 富永 圭司
委 員 豊田 健二
委 員 中東 勢治
委 員 邊見 知恵子
委 員 細井 啓造
委 員 松岡 敏彦
委 員 三浦 哉
委 員 宮生 仁美
委 員 保岡 正治
委 員 山本 雅敏
委 員 吉田 光子

1 高齢者福祉施策に関する意見

【在宅介護に関する意見】

- 在宅介護について、介護する人へのケアはどのようになっているか。介護から離れられない人も多々いる。個々の自宅を訪問するなど細かなケアが必要だと感じる。

【地域包括ケアシステムに関する意見】

- 地域包括ケアシステムについて、地域包括支援センターが非常に大事な位置づけで年々重要度が増している。介護と医療の連携の中でも、市町村レベルでの連携圏域を、日常生活圏域を目安に作りながら地域包括ケアシステムを充実させていくと出ているが、市の政策として地域包括支援センターの人材確保についても考えてほしい。
- 地域包括支援センターの機能強化について、2025年問題でますます高齢化率が上がっていく中で、在宅介護支援センターとしては14か所設置されているが、人材的には配置として、十分機能しているのか。
地域包括支援センターにお願いすることが多いので、心配している。特に最近認知症の問題もあって、人材不足を心配している。

【がん検診の受診率に関する意見】

- 疾病の早期発見・早期治療の中で胃がん、肺がん、大腸がんの受診率が低い。啓発、広報活動などを工夫していただきたい。

【健康寿命の延伸に関する意見】

- 健康寿命をどれだけ延ばすかという目標に対して、主観的健康観の高い高齢者の割合を目標値にするのではなく、別の指標をいれてはどうか。

【バス無料乗車券に関する意見】

- ご自身で運転免許証を返還される場合に、そういう方に対して無料の乗車券を交付できないか。

【成年後見人制度に関する意見】

- 施設に入ってから後見人をつけるとしても、1月ぐらい手続きにかかる。入所の以前から行政と事業所が一緒になって後見人をつけていただくということもお願いしたい。

【貧困事例に関する意見】

- ケアプランを作る中で貧困事例が増えてきたと聞いている。孤独のお年寄りが増えてお金まわりをどうするかというのがあるが、家計にどういうふうに介入していくかというのが非常に問題になっている。そういう目標もあってもいいのではないか。

【住宅問題に関する意見】

- 低所得者層の住宅問題について、地域によっては民間の普通の賃貸住宅貸し出されているようなところ等を行政が認識して、高齢者の方でも低所得者の方でも貸し出せるように作られたりしているが、徳島市でもできないか。

2 介護保険事業に関する意見

【介護保険事業に関する意見】

- 来年度の医療介護同時改定にあたり、医療保険で行われているものが介護保険に移ることが決まっている。そういったことも計画にいれなければならないのではないか。
- 医療療養病床から介護医療院への転換について適切に見込んでほしい。

【介護事業所の人員不足に関する意見】

- 人手不足について検討してほしい。
- 職員の福利厚生・職場の環境・賃金をよくすることが大事。
- 人手不足は全国的に大きな問題で、処遇改善やはぐくみ支援を利用し、できるだけのことを行っている。外国人労働者や元気な高齢者をどのように活用するかを考えていかなければいけない。
- 介護職員になりたがらないとか欠員とかそういったデータばかりでてくる。賃金を上げれば良いのだが。職員の勉強するための機会を作るなど提言をしている。

【介護現場の状況に関する意見】

- 介護者の方が介護を受ける方から、サービス外の網戸の張り替えをしてくれとか、セクハラめいたことまで要求される。気に入らなければ介護に来てくれる人を変えてくれとか、ひどくなったら事業所を変えてくれという要求を出してくることが多々ある。現場の状況についても声を聞いていただきたい。

【介護給付適正化の実施に関する意見】

- ケアプランの点検で問題になった事例について、ケアマネの資質向上を図るため、研修の際に具体的に示していただきたい。
- アプランの点検に関しては、量的な点検がほしいのと、質的な点検については自立支援型ケア会議を活用すればケアプランの質的な評価ができると思うので、自立支援型ケア会議の予定を増やしていただきたい。

【認定率に関する意見】

- 認定率を下げたいということは市町村の思惑だが、認定率を抑制することで本当に介護が必要な人にサービスが行き届かなくなる。むしろケアプランの点検をもとに適正化を目指したほうがよい。

3 計画全般に関する意見

【全般に関する意見】

- 市民からのニーズを新しい介護計画に反映されるように計画を作っていてほしい。
- 一般の全体的に専門的な言葉が多いから、一般の人はわからない。これからの啓発については一般の人、お年寄りがわかるような表現の仕方、要介護1がどの程度のものか、どこに相談したらいいかとか、そういう啓発をもっとしていかないと、一般の人はなかなかわからない。わかりやすくしてもらいたい。